

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きや所管国の状況等を
短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

Hyper Japan Online 2021 にて自治体の観光・物産を PR

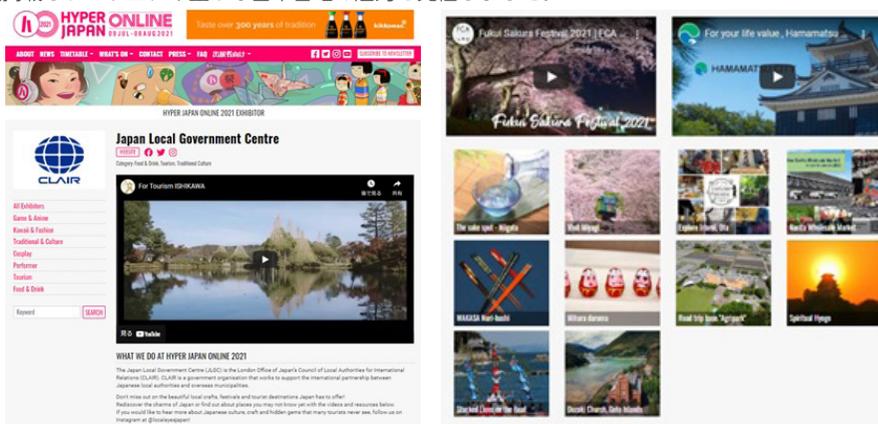
Hyper Japan は、日本文化に特化したイベントとしては英国最大級の民間イベントであり（参考：2019 年夏来場者 8 万人、2020 年はコロナ禍により延期）、2010 年から継続的に開催されています。2021 年度は、7 月 9 日から 8 月 8 日にかけて、初めてオンラインで開催されました。

内容としては、折り紙・墨絵・着付・阿波踊りなどのワークショップ、英語での落語の講演、日本の神社などのバーチャルツアー、日本食や日本酒を楽しむオンラインパーティー、コスプレやファッションショーなど、盛りだくさんのイベントとなりました。

クリアロンドン事務所でもオンラインブースを設け、日本全国 52 の自治体から寄せられた、四季折々の美しい風景、魅力的な工芸品、豊かな食文化などに関する動画や画像を順次掲載し、バラエティ豊かな日本各地の魅力を発信しました。

開催期間中は、英国のみならず、ほかのヨーロッパ諸国、さらにはアメリカ、東南アジアからのビジターの訪問を受けるなど、オンライン開催ならではのメリットもあって大いに盛り上がりを見せました。サイト全体としては、ビジター数 13 万 103 件、ページビュー数 121 万 2,247 件（クリアロンドン事務所オンラインブースとしてはビジター数 4,956 件、ページビュー数 3 万 427 件）を記録し、コロナ禍により日本への旅行が困難となっている現状においても、引き続き日本への関心が高いことを感じました。

クリアロンドン事務所では、今後とも、自治体の観光・物産の PR を積極的に支援してまいります。



Hyper Japan Online 2021 クリアロンドン事務所オンラインブースの一例



シドニー事務所

コドモノヒ・ジャパン・フェスティバル 2021 に初出展！

5 月 2 日、コドモノヒ・ジャパン・フェスティバル 2021 が、南オーストラリア州の州都アデレード市の都市圏にあるウエストトレンス市で開催されました。本フェスティバルは、オーストラリアと日本の人々の文化的・社会的つながりを祝して開催されるアデレード都市圏で最大の日本祭りです。

クリアシドニー事務所は、本フェスティバルに初めて出展し、JETAA（元 JET 参加者の会）支部の地元メンバーによるブースの隣にブースを構え、連携・役割分担しながら、JET プログラムの PR、2022 年に開催予定のワールドマスターズゲームズ 2021 関西および FINA 世界水泳 2022 福岡大会 & FINA 世界マスターズ水泳 2022 九州大会の PR に加え、日本各地の地方自治体の PR を行いました。

予想を上回る来場者の方々が、日本の人気観光地の情報や観光の情報を求め、クリアシドニー事務所のブースを訪れました。中には、南オーストラリア州の姉妹県である岡山県やアデレード市の姉妹都市である姫路市の情報を求める方もいました。

また、多くの方々から、海外への渡航規制が解除された暁には、必ず日本を訪問し、美しい風景、見事な文化、おいしい食事をしてみたいとの声を頂き、パンデミック後のインバウンド需要の素早い回復を予想させるものがありました。

クリアシドニー事務所では、引き続き、日本各地の地方自治体のオーストラリアおよびニュージーランドにおけるプロモーションを支援していきます。



法被を着てブースで PR する
クリアシドニー事務所職員



クリアシドニー事務所職員と
JETAA 支部地元メンバーの集合写真



北京事務所

「河北省国際友好都市連絡人交流活動」に出席しました

2021年7月18日から20日まで河北省石家庄市および邯郸市で開催された「河北省国際友好都市連絡人交流活動」に、長野県と鳥取県から活動支援の依頼を受けたフレア北京事務所の職員が出席しました。両県は河北省と友好都市の関係にあり、長野県は友好交流提携を締結して今年で38周年、鳥取県は35周年を迎えています。

本活動は友好都市間の交流と協力を推進するために河北省が主催したもので、8都市^{*1}の代表者が河北省との交流状況や各都市の産業などについて発表し、情報交換を行いました。また、邯郸市にある中国最大の養鶏場などを視察し、同省が力を入れている6次産業化^{*2}の取り組みについて知見を深めました。

当事務所では、今後も日中間の地方自治体と地方政府の交流活動の支援に注力してまいります。

※1 日本・長野県、鳥取県、アメリカ・アイオワ州、インディアナ州、サウスカロライナ州、ベルギー・オースト＝フランデレン州、オランダ・南オランダ州、バーレーン王国

※2 生産物の価値を上げるため、農林漁業者（1次産業）が、食品加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）にも取り組み、農山漁村の経済を豊かにしていくこと



発表を行うフレア職員



中国最大の養鶏場（邯郸市）を視察



ソウル事務所

2021年度第1回クレアソウルセミナーを開催しました！

クレアソウル事務所では、韓国に駐在する地方公務員が駐在生活を効率的かつ円滑に遂行することを目的として「韓国駐在地方公務員等連絡協議会」を設置・運営しています。年に3～4回程度、会員間の意見交換と韓国の駐在で必要な知識や韓国の先進的な取り組みなどを勉強するため「韓国駐在公務員等連絡協議会兼クレアソウルセミナー」を開催しています。2021年7月15日（木）に、今年度第1回の協議会兼セミナーを実施しました。韓国でコロナウイルス感染者が急増したことにより、初めての完全オンラインでの開催となりました。

日韓の外交、文化交流、韓国での販路開拓など、地方公務員の関心が高いトピックをテーマにした講義が行われました。韓国で活動する機関は、日韓関係やコロナウイルスなど、さまざまな課題がある中で事業を実施しています。講義では、事業の実施状況などの事例を詳しくご紹介いただき、国際事業を推進する地方公務員にとっても大変参考となるものでした。現在、新型コロナウイルス感染防止を目的に、対面を避け、オンラインを中心に事業を行うことを余儀なくされています。安全面を重視することはもちろんですが、特に交流事業では、対面交流だから得られる、感じるものもあるため、安易にオンラインとするのではなく、事業として効果的な方法を考える必要があります。

新型コロナウイルスが発生して1年が経過する中、事業の実施方法についてもさまざまな変化がありました。クレアソウルでは、協議会兼セミナーを通して、国際事業を推進するために役に立つ情報を共有してまいります。

※新規で韓国に駐在する地方公務員の方がいらっしゃいましたら、ぜひクレアソウルまでご連絡ください。

【お問い合わせ】クレアソウル事務所 E-mail : info@clair.or.kr



オンラインセミナーの様子



パリ事務所

食を通じて東北の復興を世界に伝える：Human Legacy Dining ～Terroage Tohoku～の開催

7月23日、パリ市で「Human Legacy Dining ～Terroage Tohoku～」というイベントが開かれました。一般社団法人「東の食の会」主催のこのイベントは、復興五輪を理念に掲げながら原則無観客開催になってしまった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に代わり、食を通じて東北の復興を世界に発信する趣旨で行われました。オンラインでパリと日本の東北地方を繋ぎ、パリ側の参加者に東北の食と酒のマリアージュ（組み合わせ）を味わってもらいながら、食材やお酒の特徴・コンセプト、震災や復興活動で直面した苦労、そうした苦労を乗り越えるための取り組みなど、東北の生産者の方々のこれまでの軌跡とその想いが伝えられました。

このイベントに参加し、地域の特産物を紹介する際、物そのものの良さに加え、そうした物が作られる背景や過程、生産者の考え方を一緒に伝えることの大切さを感じました。日本の伝統技術や工芸品などを紹介する際には、それらが持つストーリーも広く知っていたらできるよう、フレアパリ事務所はイベント開催や情報発信に努めてまいります。



東北の豊かな食材を活かした料理とお酒



パリの会場と日本の生産者たちが画面を通じて交流



ニューヨーク事務所

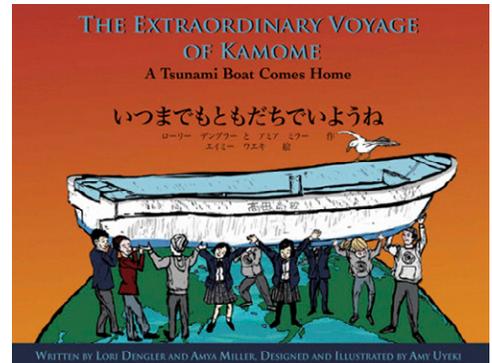
国際姉妹都市連盟年次総会への参加

2021年の国際姉妹都市連盟年次総会は「Building Strong Ties for an Interconnected World」がテーマに掲げられ、7月14日から15日にかけて、2020年に引き続きオンラインで開催されました。「教育」と「スポーツ」にスポットをあて、著名な教育関係者や現役プロスポーツ選手を含むパネリストによる議論が行われるとともに、参加者による具体的な交流の取り組みに関する情報交換などが行われました。

1日目の「教育」をテーマとしたパネルディスカッションでは、新型コロナウイルスの影響によりオンライン授業が一般的になった一方で、一部の貧困地域の子供たちはインターネット環境が整っていないため、教育を受けられないことなどが問題として取り上げられました。

2日目の「スポーツ」をテーマとしたパネルディスカッションは、Teqball（サッカーと卓球を組み合わせたスポーツ）を活用した国際交流活動を例に、全米テックボール会長や現役女子プロサッカー選手らが自身の経験などを参加者と共有しました。

また、2021年3月にクリアニューヨーク事務所が開催した「3.11から現在、そして未来へ 一映像で振り返る東北の10年」でも紹介した、東日本大震災で流された船「かもめ」が漂着したことをきっかけに始まった陸前高田市とカリフォルニア州クレセントシティ市の姉妹都市交流を紹介するビデオが流されました。現在はビジネスパートナーシップなどを含む多様な分野で交流が発展しており、また、「かもめ」を通じた交流の様子は絵本にもなっています。



交流のきっかけとなった船「かもめ」と姉妹都市の絆を題材とした物語



シンガポール事務所

「アニメや漫画などの聖地を活用した自治体の観光PR番組」を配信！

クリアシンガポール事務所では2020年度に引き続き、自治体のインバウンド促進を支援するため、アニメや漫画などにゆかりのある自治体の観光PR番組を制作し、最新のアニメ・漫画・ゲーム情報を世界に向けて発信しているオンラインプラットフォーム「AFA Station TV」において配信を開始しました。

番組は2本立てで、番組MCとゲスト（バーチャルYouTuberやコスプレイヤー）によるトークショー形式になっています。第1弾には静岡県浜松市・長野県上田市（信州上田観光協会）・北海道千歳市・千葉市・宮崎県・北海道苫小牧市、第2弾には栃木県足利市（足利市観光協会）・大阪市・山口県山口市・鹿児島県屋久島市・長崎県五島市・福岡県北九州市に参加いただきました。各自治体の有名アニメ・漫画を彷彿とさせる場所やコスプレを楽しむのに最適なロケーションから、王道の観光スポットまで、コンテンツが盛りだくさんの内容となっていますので、是非ご覧ください！

※以下のリンクから番組を視聴できます。

第1弾：<http://www.clair.org.sg/j/information/2021-2/>

第2弾：<http://www.clair.org.sg/j/information/2021-2-2/>



番組第1弾の様子①



番組第1弾の様子②



JETプログラム事業部

JETプログラム終了後もさまざまな形でJETでの繋がりを維持しています！！

JETプログラム事業部では、JETプログラム参加者がプログラム終了後も任用されていた団体や日本でできた繋がりを維持・発展させていくために、JETAA（元JET参加者の会）などと連携しながらさまざまな取り組みを行っています。

JETプログラム版の県人会である「KenJETkai」では、任用されていた都道府県単位でJET参加者と関係者などの繋がりの維持を図っており、「JET Streams」では、JETプログラム卒業生のJET終了後の活動の様子を発信しています。

- ① (JETAA) <http://jetprogramme.org/ja/jetaa/>
- ② (KenJETkai) <https://www.facebook.com/kenjetkai>
- ③ (JET Streams) <http://jetprogramme.org/ja/jet-streams/>



①



②



③

JETプログラム終了後連絡先調査

世界75ヶ国、約70,000人のJETOB・OGとつながって、帰国後も日本との絆を紡いでいこう！

回答するメリット

- ・10分未満で終わる簡単な調査です
- ・帰国後、各種のイベント案内が受け取れます
- ・各種イベントやキャリア支援を行っているJETAA支部(元JET参加者の会)への入会申込ができます
- ・JET経験者向けメルマガJET Streamsを申し込むことで世界中のJET経験者の情報入手ができます
- ・CLAIRにJET後の連絡先を共有することでJETとの関係性が保たれます

JETプログラム終了者向けに実施している「JETプログラム終了後連絡先調査」(表紙)

経済交流課

経済交流課ホームページにて海外経済活動の事例を紹介しています！

経済交流課では、自治体が行うインバウンド事業や海外販路開拓事業などの事例や、各分野の専門家が執筆した記事など、有益な情報をホームページで紹介しています。インバウンドや海外販路開拓についての情報収集の際に、ぜひご覧ください。

< 2021 年度 掲載記事 >

●インバウンド事業

- 「奈良県のアフターコロナに向けた MICE 誘致活動について」
- 「新名所「ところざわサクラタウン」と連携！
～コロナ禍における所沢市のインバウンドプロモーションの取り組み～」
- 「新たな PR の形～ライブコマースの活用について～（横浜市・山梨県の取り組み）」

●海外販路開拓事業

- 「地元特産品を世界へ発信！～郡山市の取り組み～」
- 「茨城県産品の海外販路開拓に係る取り組み
～コロナ禍と過年度から継続的に行ってきた取り組みについて～」

詳しくは、HP をご覧ください。http://economy.clair.or.jp/category/topics/

【お問い合わせ】

経済交流課 Tel : 03-5213-1726 Mail : keishin@clair.or.jp



経済交流課ホームページ 事例紹介

交流親善課

第 16 回（2021 年度）自治体国際交流表彰（総務大臣賞）候補団体を募集しています

クリアでは、総務省との共催で、姉妹都市提携などに基づく国際交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取り組みを行っている団体を表彰します。公募は自治体だけでなく、自治体からの推薦があれば、民間非営利団体からもご応募いただけます。経済、教育、文化・スポーツなど幅広い分野の交流を対象としています。皆様からのご応募をお待ちしております。

表彰対象団体：都道府県、市区町村または地域国際化協会もしくは国際交流協会などの民間非営利団体

表彰対象となる取り組み：姉妹自治体提携に基づく交流活動のほか、海外自治体と特定分野（教育、経済、観光、防災など）の協定、覚書などに基づく交流およびこれに準ずる交流（協定などによらないが、国内自治体が公認し、継続性があるもの）

応募期限：2021 年 11 月 30 日（火）

詳しくは http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/hyoushou.html をご覧ください。



第 13 回自治体国際交流表彰受賞式の様子

多文化共生課

2021 年度 地域国際化協会職員 国内研修（事業担当者向け）を開催しました

地域国際化協会連絡協議会（事務局：クリア多文化共生課）では、毎年、相談窓口での対応にあたる職員の方などを対象に研修を実施しています。2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響も含め増加する外国人住民からの相談対応をテーマとして 2 部構成のオンライン講義を行いました。第 1 部は「外国人在留支援センター（FRESC）について」と題し、出入国在留管理庁 在留管理支援部 在留支援課長の田平 浩二氏ほか、また第 2 部は「コロナ禍における外国人住民からの相談対応～多文化ソーシャルワークの視点から～」と題し、東洋大学 ライフデザイン学部生活支援学科 教授 南野 奈津子氏にご講演いただきました。

参加者からは、「FRESC のことを知ることができてよかった。実際にあった具体的な相談事例もとても参考になった」「話を丁寧に聴いてあげるといって対応することが最も重要という内容に共感した」という感想の一方、「全国からの参加者とワークショップをしたかった」といった意見も聞かれました。

今後も、地域国際化協会職員の人材育成に資するものとなるよう、参加者のニーズに沿った研修を実施してまいります。



当日資料（抜粋）

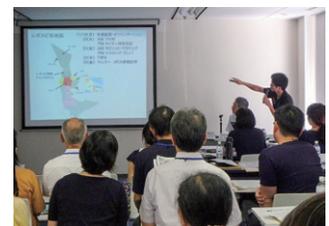
市民国際プラザ

自治体と NGO/NPO の連携推進セミナー （オンライン）を開催します！

■自治体と NGO/NPO との連携による国際協力についてのセミナーを、11 月にオンラインで開催予定です。詳細は近日中に市民国際プラザのホームページに掲載します。ぜひご参加ください！

■リニューアルした市民国際プラザウェブサイトと情報掲示板をどうぞご利用ください。

■多文化共生支援団体リストが市民国際プラザウェブサイトに移管されています。こちらもぜひご利用ください。



2020 年度のセミナーの様子

最新情報はこちらから

ウェブサイト：http://www.plaza-clair.jp/

リニューアルしました！

Facebook：@Siminkokusaiplaza.janic

Twitter：@janic_plaza

メールマガジン登録：http://www.plaza-clair.jp/plaza/magazine.html（月 1 回配信）

お問合せ：international_cooperation@plaza-clair.jp